

# 第50回 水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会（担当：水工学委員会，海岸工学委員会）  
 共催：公益社団法人 土木学会 西部支部  
 期日：2014年8月25日(月)～26日(火)の2日間  
 （A・Bコース並行開催）



場所：九州工業大学 戸畑キャンパス 総合教育棟  
 C-1A講義室，C-2A講義室（北九州市戸畑区仙水町1番1号）  
 アクセスマップURL  
<http://www.kyutech.ac.jp/information/map/tobata.html#sub3>

本研修会は土木学会のCPD  
 (継続教育)プログラムと  
 して認定されています。

日程および講義題目・講師 (注) 講義題目には若干の変更がある場合があります

Aコース(河川・水文) [行事コードNo.234021] Bコース(海岸・港湾) [行事コードNo.234022]  
 《総合テーマ》：「近年の大規模水・土砂災害と予測・対策 技術の高度化」 《総合テーマ》：「海岸・港湾に関する調査・観測の技術」

## ■ 8月25日(月)

9:15～ 10:45	近年の大規模水・土砂災害の特徴 小松利光 (九州大学・特命教授・名誉教授)	9:15～ 10:45	わが国における気象観測とそのデータ利用 蓼沼信三 (気象庁・観測技術管理官)
11:00～ 12:30	大都市域における浸水危険性の評価手法と それに基づく避難誘導 関根正人 (早稲田大学・教授)	11:00～ 12:30	日本沿岸における波浪の常時観測 ～全国港湾海洋波浪情報網・ナウファスを例に～ 川口浩二 (港湾空港技術研究所・チームリーダー)
13:30～ 15:00	九州における大規模災害とその対応 古賀俊行 (九州地方整備局・河川部長)	13:30～ 15:00	田辺中島高潮観測塔における気象海象観測 馬場康之 (京都大学・准教授)
15:15～ 16:45	河川堤防の決壊と対策技術 中川 一 (京都大学・教授)	15:15～ 16:45	調査観測兼清掃船による有明海・八代海の 環境調査について 奥村靖浩 (九州地方整備局・沿岸防災対策官)

## ■ 8月25日(月)

## ■ 8月26日(火)

9:15～ 10:45	フリーソフトiRICを用いた河川の流れ， 河床変動，河岸浸食予測の実践 清水康行 (北海道大学・教授)	9:15～ 10:45	漂砂・海浜変形の調査と解析について 黒岩正光 (鳥取大学・教授)
11:00～ 12:30	減災型治水に求められる河川技術の展望と 課題 秋山壽一郎 (九州工業大学・教授)	11:00～ 12:30	国内外における沿岸域災害調査 田島芳満 (東京大学・教授)
13:30～ 15:00	大規模洪水に適応可能な河道設計と河道 管理 福岡捷二 (中央大学・教授)	13:30～ 15:00	現場観測データに基づく甌島浦内湾の 副振動特性について 山城 徹 (鹿児島大学・教授)
15:15～ 16:45	集中豪雨のリアルタイム観測・予測技術 中北英一 (京都大学・教授)	15:15～ 16:45	古文書・津波堆積物が示す世界最大規模の 津波の実態と対応策 仲座栄三 (琉球大学・教授)

## ■ 8月26日(火)

定員：Aコース150名，Bコース150名

受講料：1コースにつき，一般16,000円，学生・院生10,000円(いずれも講義集代を含む)

申込方法：土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

もしくは、FAX(学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」)をご利用下さい

申込締切日：2014年8月15日(金)【必着】

締め切り日以降は，原則として行事当日会場にて受付致しますが，定員に達している  
 場合がありますので，事前に下記へお問合わせ下さい

問合せ先：土木学会 研究事業課 TEL:03-3355-3559(担当:岩西)

備考：会場の詳細，講義の変更等の最新情報に関しては，下記ホームページでご確認ください

水工学委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>

海岸工学委員会ホームページ <http://www.coastal.jp/ja/>

